



図書館員のオススメ

「ひめねずみとガラスのストーブ」

安房直子／作
降矢なな／絵

風の子なのに寒がりのフー。「くまストーブ店」で買ったストーブを森の奥でたいていると、ひめねずみがやってきて…。

ガラスのストーブのみかん色の柔らかな暖かさを感じる、ちょっぴり切ないお話です。



私の好きな本

「アクシデント」(上・下)

ダニエル・スティール／著

家族が幸せに暮らしている中、突然の交通事故により娘がこん睡状態に陥り、さらに夫の浮気を知る。悩む中で自分の生き方を考え、人生を諦めず前向きに生きている主人公。今までの人生これからの人生を考えてしまう一冊である。

(大野信明さん)



寒い夜だからこそ

冬の夜空を飾る星たち

凍てつくほどに澄んでいく大気。白い息を吐きながら、ふと見上げると満点の星。真冬こそ輝く星たちをじっくりと楽しむ絶好の季節です。

冬の夜空は明るい一等星が多く、星座のにぎやかさは四季を通じて一番ではないでしょうか。

然別湖は街から離れた山の上で、湖畔にはホテル二軒しかありません。そのホテルの明かりが届かないような所に

少し移動すると、頭上にはきらびやかな天文ショーが織りなされています。

ちょっと面倒だという人は、凍りついた然別湖の氷上に降り立ち、両手で目の周りを囲って、ホテルの明かりを遮って上を見る。それだけでたくさん星に出会うことができます。

冬

の星座の中で一番に思い付くのがオリオン座ではないでしょうか。狩人オリオンの右肩先の赤い一等星がベテルギウス。左足下に輝くのがリゲルです。ひとさわ目立つ青白いおおいぬ座のシ



アイスチャペルとオリオン座



イグルーと月

リウスは全天一明るいマイナス1.5等星。ベテルギウス、シリウス、そしてこいぬ座のプロキオンの三つをつないだのが「冬の大三角形」となります。

おうし座の肩辺りにごちゃごちゃしているのがプレアデス星団とって、かの有名な「すばる」です。ふたご座、ぎょしゃ座、いっかくじゅう座など他にも数多くの星座、星雲、星たちが夜空に輝いています。星や星座の名前が覚えられなくても、分からなくても無限の宇宙に散らばる煌星をただただ眺めているだけでも目の保養になります。ところが長時間になると、

どうしても首が疲れるもの。そんなときは氷上の雪原に寝転がることをお勧めします。もちろんしっかりとした防寒対策をした上ですが。ふわふわの雪に身を委ねれば、思う存分星空を堪能できます。

夜

の静けさの中、突如として寝転がった背中の下から異様な音が全身に伝わってくるがあります。

気温の寒暖で湖の氷が拡大縮小することにより、ぶ厚い氷がきしんで「グォーン」とか「グググ…」と鳴ったり、時には「ドン」と亀裂の入る大きな音がします。星たち同様、氷もゆっくり動いているんです。

湖上の雪原に寝転がると、ぶ厚い氷の胎動や夜空にきらめく星のささやきが聞こえるかもしれません。それでも寒いのが苦手な方は、然別湖名物、世界で唯一の氷上露天風呂にどっふりと浸かりながら星影を愛でるのも一興かと。

～パセリ座人形劇～

好評をいただき恒例になりました、新得町在住の能登さんご夫婦による人形劇団「パセリ座」の公演をいたします。

今回は皆さんご存じの「ももたろう」と、マリオネット「しあわせな王子」を上演していただきます。大人気の腹話術もあります！ぜひ、お越しください。

と き：2月18日(土) 午前10時～11時

ところ：鹿追町図書館 2階視聴覚室

入場料：無料



昨年の様子

～雑誌還元のお知らせ～

図書館での保存期限が経過した雑誌の無料配布をいたします。ぜひ、ご利用ください。

と き：2月2日(木)～2月16日(木)

午前10時～午後6時

(金曜日のみ午後7時まで)

ところ：鹿追町図書館 1階ロビー

▼ 新刊案内 ▲	一般教養書
	おとな「学問のすすめ」 / 齋藤 孝
	快適で住みやすい「家のしくみ」図鑑
	カエルの声はなぜ青いのか? / ジェイミー・ワード
	花の立体切り紙 / 大原まゆみ
一般文芸書	
	人生に七味あり / 江上 剛
	開拓者たち / 北川 恵
	恋物語 / 西尾維新
	フィデリティ・ダヴの大仕事 / ロイ・ヴィカース
文庫・新書	
	残念な人のお金の習慣 (青春新書プレイブックス) / 山崎将志
	大阪船場おかみの才覚 (平凡社新書) / 荒木康代
	侍の大義 (角川文庫) / 稲葉 稔
	変死体 上・下 (講談社文庫) / パトリシア・コーンウェル
絵本・児童書	
	ヤモリの指から不思議なテープ / 松田素子
	サリーのえらぶ道 / エリザベス・オハラ
	おすしのうた / 牛窪良太
	ねむるまえに / アルバート・ラム
■ この他にも新刊を用意しています。ぜひご来館ください。	